

令和3年度

# 川内中学校 「学力向上実行プラン」

## 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①「学習規律の確立」
- ②「わかる授業の実践」(見通しのある工夫した授業を展開する。)  
「目標の明示」→「課題解決のための学習活動」→「振り返り」

## 学力向上検討委員会構成

<b>学力向上推進員</b> 岩佐亜紀	<b>委員</b> 校長:小川陽子 教頭:松田和代, 中山英治 教務主任:武市明典 研修主任:岩佐亜紀 学年主任:奥村昇, 大谷哲也, 山本美代子
------------------------	--

校長

小川陽子

### ◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職や教員による授業参観や校内巡視などを通して、取組状況の把握を行う。

#### (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○提出物が確実にできているとした生徒の割合が84%であった。 ○基礎的・基本的な知識はおおむね身に付けている。 ●自己の学習状況が正確に把握できず、基礎的・基本的な知識・技能の習得につながっていない。	・授業に臨む基本的姿勢が確立できており、授業に真剣に取り組んでいる。 ・ノートを正確にまとめ、宿題など提出物がきちんと出せている。 ・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができている。	・学校全体で共通した学習規律の確立を可視化するなどして徹底する。(2分前着席, 姿勢, あいさつ, 挙手, 発言等) ・「授業のルール10か条」を全学級配付・学級掲示するなど目標を可視化する。 ・持続可能で達成感を味わえるような「プラス1」プリントを全教職員が計画し、実践する。			

#### (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題に対してまじめに考え取り組もうとする生徒が多い。 ○自分の考えや気持ちを発表できる生徒もいる。 ●課題について、筋道を立てて思考し文章を書く力や、根拠を明らかにして表現する力が十分でない。	・課題について、根拠や理由を明らかにしながら、発表したり、文章に書いたりして表現することができる。 ・相手の立場や考えを理解しようと努めるとともに、自分の気持ちを相手に伝えたり考えを説明したりすることができる。	・根拠や理由を明らかにして、意見を交換したり整理したりして、学び合う授業を展開する。(タブレット端末の活用) ・徳島県学力向上確認プリントを全学年で活用する。 ・研究授業やオープンクラス・ウィークを実施し、他学年や他教科の教員から学び合う。			

#### (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○チャイム着席ができているとした生徒の割合が92%で、学習への前向きな姿勢が見られる。 ●家庭学習の習慣が身に付いているとした生徒の割合が77%であり、将来の夢があり目標をもって生活できているとした生徒の割合が64%であった。	・自ら学習状況を把握し、目標を達成するために試行錯誤しながら粘り強く学習に取り組んでいる。 ・夢や希望をもち、目標に向けて努力を続け、自己肯定感をもって学習に取り組んでいる。	・家庭学習は「学年プラス1時間」を全職員が意識し、計画的で適切な課題を出す。 ・自主勉強「グリットチャレンジ」を活用し模範自主勉の掲示をするなど、学習習慣を身に付ける手立てをする。			

### 令和3年度 学力向上ロードマップ

